

表紙の作り方

パソコンで作る①

指定した用紙サイズや制作のきまりをご確認いただき、**必ずJPEG形式で保存したデータ**をご入稿ください。
下記内容をご理解いただける方におすすめています。

原稿のサイズ

表紙原稿は以下のサイズでお作りください。

スタンダードタイプ：縦323mm×横228mm(オモテ)+背幅+228mm(ウラ)
ライトタイプ：縦317mm×横220mm(オモテ)+背幅+220mm(ウラ)

※両タイプともぬりだし10mm付

※背幅はご注文のページ数により異なります。次ページの背幅表をご参照ください。

弊社指定の制作のきまりをご確認いただき、**JPEG形式**以外のご入稿はお避けください。
解像度は**350~400dpi**、ピクセル数は**縦4451px** (ライトタイプは4368px) での
ご入稿をお願いいたします。

※解像度の低いデータはお受け取りいたしかねます。

9ページ・13ページをご参照いただき、ピクセル数および画質をご確認のうえ、ご入稿ください。

アルバムは左綴じのため右側にオモテ、
左側にウラ表紙を制作してください。



スタンダードタイプ
表紙イメージ



ライトタイプ
表紙イメージ



| スタンダードタイプ アルバム台紙なし | |
|-----------------------|------|
| ページ数 | 背幅 |
| ~ 50 | 7mm |
| 52 ~ 66 | 8mm |
| 68 ~ 82 | 9mm |
| 84 ~ 98 | 10mm |
| 100 | 11mm |

| スタンダードタイプ アルバム台紙1枚 ※アルバム台紙を付けた場合です | |
|--|------|
| ページ数 | 背幅 |
| ~ 38 | 7mm |
| 40 ~ 54 | 8mm |
| 56 ~ 70 | 9mm |
| 72 ~ 86 | 10mm |
| 88 ~ 100 | 11mm |

| ライトタイプ | |
|---------|-----|
| ページ数 | 背幅 |
| ~ 38 | 2mm |
| 40 ~ 56 | 3mm |
| 58 ~ 60 | 4mm |

スタンダードタイプは、背から10mmほどが溝部分になりますので、お顔や文字などを避けてご制作ください。(溝部分は凹みとなります)

背文字は背幅からはみ出さないよう、**14pt以下**でお入れいただくと綺麗に仕上がります。

ライトタイプには溝部分がございません。また、背が狭いため背文字を入れることができません。

斜線部分は表紙の裏側に折りこまれるため、**切れてはいけない絵や文字などは入れない**でください。

また、印刷・製本時にわずかな誤差が発生いたしますので、斜線部分の背景を**白く**してしまうと、**背景のズレが目立って**しまいます。(9ページ参考)

斜線部分から**更に内側10mm程度**も切れてはいけない絵や文字はお避けいただくと、仕上がり位置から詰まった配置とならず、すっきりとした印象になります。



表紙の作り方

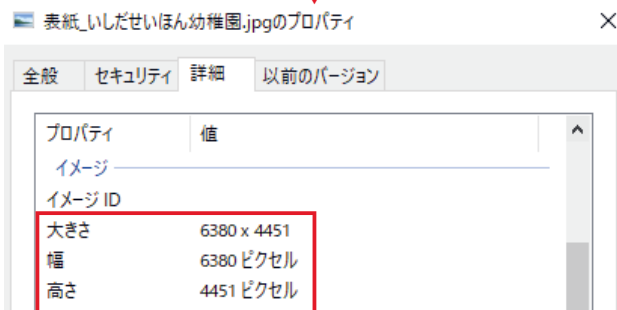
パソコンで作る②

本文ページ数に該当する背幅でお作りください。
データのピクセル数・画質のご確認をお願いいたします。

ピクセル数の確認方法

Windowsの場合

- ①画像を右クリックします
- ②「プロパティ」を選択します
- ③プロパティ画面の「詳細」タブをクリック
- ④イメージ欄の中の「大きさ」のピクセル数を確認



Macの場合

- ① [表示] メニューから [ギャラリー] をクリックします。
- ②右側に画像の詳細が表示されます
- ③その画面の「大きさ」の数値がピクセルです



ディスプレイ上で画質を確認する際は、実際に印刷する大きさの2倍程度に拡大してご覧いただくことをお奨めいたします。

ぬりたし部分は背景の流し込みが必要です。

8ページ図内の赤白の斜線部分が10mmのぬりたしとなります。
切れてはいけない絵や文字はこの部分には入れずにお作りいただきますが、**背景の模様や背景色に関しては斜線部分までの流し込みが必要**となります。
ぬりたし部分までの流し込みがないと印刷・製本時のわずかな誤差により、実際に仕上げた際に仕上がりの中に白フチがついた状態になります。
(右図参考)



ズレても
綺麗で目立たない



ズレた際に目立ち
白フチがついている

データで作る場合は、必ずルールを守って制作してください。

ルールに即して制作されていないデータや原稿をご入稿された場合は、弊社よりご連絡をいたしますので、再入稿願います。
再入稿が最終入稿日を過ぎている場合、発送日の遅延となりますので予めご了承ください。
推奨解像度でのJPEG保存ができない場合は、外部変換ツールなどをご利用ください。*詳しくは13ページへ

注意

PDFファイルでのご入稿は様々な不具合を起こしやすいため、JPEGでのご入稿をお願いいたします。

本文の作り方

思い出メーカー以外のデザインソフトで作る

思い出メーカー以外のデザインソフトで制作

お持ちのデザインソフトをご利用の上、指定の用紙サイズ・解像度・**JPEG形式**で保存したデータをご入稿ください。
ドキュメントサイズや保存形式が違う場合、画像が荒くなったり比率が合わず最初から作り直しになってしまう恐れがございます。

ドキュメントサイズの設定

本文原稿は縦303mm×横216mm(ぬりたし3mm付)
またはA4サイズ(縦297mm×横210mm)で制作してください。
※A4の場合は拡大いたします。ぬりたし付きは拡大いたしません。

背景は下図、**赤いライン**まで入れ、
写真や文字は**黄色のエリア**内に収めてください。

綴じ側15mm(ぬりたし3mm+綴代12mm)と
綴じ側以外の辺の13mm(ぬりたし3mm+余白5~10mm)には
配置しないでください。

余白はお好みですが最低でも**5mmは残してください**。

ドキュメントサイズ：303mm×216mm
解像度：350dpi推奨
ピクセル数：4175px×2976px
カラーモード：RGB/CMYK

※思い出メーカーと混在の場合はRGBでご制作ください。
※画質の低いデータはお受け取りいたしかねます。

動画でもご紹介しております。
ぜひご覧ください。



※上の図は右側に綴じ代がある場合の例です。
奇数ページの場合は綴代は左側です。

画質の確認について ※詳しくは9ページ・13ページへ

上記枠内のピクセル数以上になっているかのご確認をお願いいたします。
また画質は画面上ではご確認できません。画質の確認は印刷をして行ってください。
※9ページ「ピクセル数の確認方法」をご参照ください。

ファイル形式について ※詳しくは13ページへ

データは「**JPEG**」形式で書き出しをお願いいたします。

※**ファイル形式が異なりますと制作ができません**。特に**PDFはエラーの原因**になりますのでご注意ください。
※aiやpsdなどのオリジナルファイルは修正用として、お客様で保管しておいてください。



どうやってアルバム作りをするの？その⑧

データ入稿の保存形式について



思い出メーカー以外のデザインソフトを使って制作する場合、
保存形式は**JPEGデータ**での入稿をお願いします。

「思い出メーカー」以外のソフトで、画質の良いJPEGデータの書き出し方法

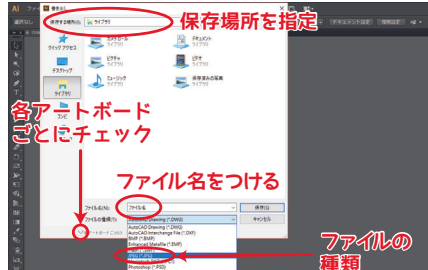
マイクロソフト社のソフトでの作成に関して推奨はしていませんが、ご使用の場合は事前の画質設定が必要となります。右の二次元コードより動画をご参照ください。また、必ず下記のような変換ツールを使用してJPEGデータに書き出してください。恐れ入りますが、下記ソフトに関するサポートはいたしかねますことをご了承ください。※どのソフトを使用しても、元データは修正するときのために保存しておきましょう。



思い出メーカー (RGB) も併用の場合は、カラーモードは**RGB**にご設定ください。
※CMYKでの制作をご検討中の方はご相談ください。

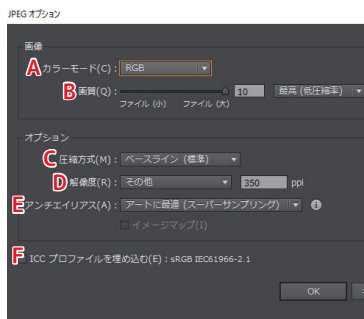
Ai アドビデザインソフト イラストレーター

- ① ファイルメニューの「書き出し」から「書き出し形式」を選択します。
- ② 保存場所を指定し、ファイル名をつけます。「ファイルの種類」のプルダウンメニューからJPEGを選択します。



- ③ JPEGオプションウィンドウ右図のように設定

- A カラーモード：RGB/CMYK(思い出メーカーと混在不可)
- B 画質：10最高(低圧縮率)
- C 圧縮方式：ベースライン(標準)
- D 解像度：350と入力
- E アンチエイリアス：アートに最適または文字に最適
※画像中心か文字中心かでお選びください。
- F ICCプロファイル：チェック
sRGBまたはJapan Color 2011 Coated

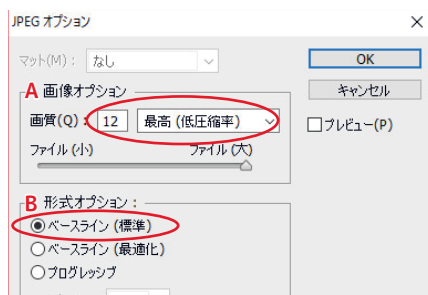


- ④ OKを押すと、任意の場所に保存されます。
※お色味にこだわりがある場合は、有料オプションの印刷校正・製本校正を強くおすすめいたします。行わない場合は、弊社のカラープロファイルで制作いたします。

Ps アドビデザインソフト フォトショップ

- ① ファイルメニューの「別名で保存」から、JPEG形式を選択します。
- ② JPEGオプションが開きますので右図のように設定します。

- A 画像オプション：12 最高(低圧縮率)
- B 形式オプション：ベースライン(標準)



- ③ OKを押すと、任意の場所に保存されます。

エクセル・ワード・パワーポイント等デザインソフト以外

弊社で確認している比較的問題のないフリーソフト「Cube PDF」を使い、JPEG保存する方法です。

レイアウトが崩れる・低画質など問題があるため卒園アルバムの制作には推奨していません。

ダウンロード ※Windows専用ソフトです。Macには対応していません。

<https://www.cube-soft.jp/cubepdf/>
弊社から配布する事はできませんので、お客様ご自身で入手してください。

ご案内ソフトをご利用の際にいかなるトラブルが発生致しましても、弊社では一切の責任は負いかねますので、お客様のご判断においてご利用をお願い申し上げます。

「Cube PDF」ご利用手順

- ① ダウンロードしたファイルを手順にしたがってインストールしてください。
- ② 制作に使用したソフトで完成データを開き、「印刷」を実行してください。
- ③ 登録されているプリンターの中から「Cube PDF」を選択し印刷に進みます。
- ④ 「Cube PDF」の設定ウィンドウが表示されますので、下図のように設定してください。

- A ファイル名：JPEG
- B 解像度：400または600dpi



- ⑤ 変換を押すと任意の場所に保存されます。
- ⑥ 稀に一部の文字や画像がなくなることがありますので、変換完了後元データと比較し、ご確認ください。
※高画質で保存できますが、レイアウトが崩れる場合があります。

どうやってアルバム作りをするの？その⑧